

2012年3月期 第2四半期決算説明会



2011年11月28日

株式
会社 **朝日ラバー**

2012年3月期第2四半期決算説明資料 目次

I. 2012年3月期第2四半期決算実績

1. 連結損益（前年同期比較） 2
2. 連結損益（四半期会計期間比較） 3
3. セグメント別実績（前年同期比較） 4
4. 主要製品実績－ASA COLOR LED、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品 . . 5～7
5. 単体損益実績（前年同期比較） 8
6. 連結子会社の損益実績（前年同期比較） 9
7. 連結貸借対照表実績 10

II. 2012年3月期決算見通し

1. 連結損益見通し（前期比較、セグメント別） 11
2. 連結損益見通し（前回見通し比較） 12
3. 連結設備投資計画（前期比較） 13
4. 配当実績と計画 14

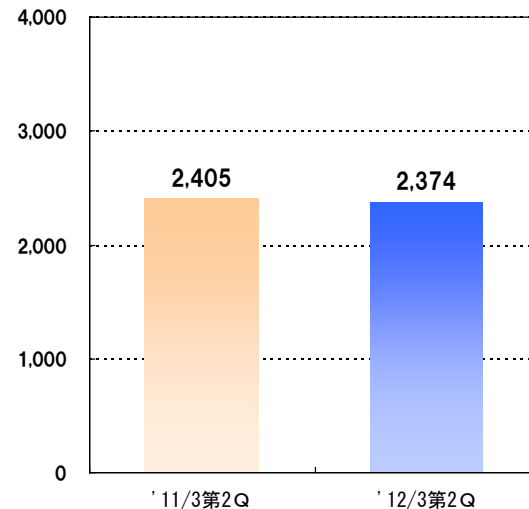
III. 中期経営計画

1. 中期経営計画概要 15
2. 事業戦略（事業別売上高） 16
3. 海外戦略 17～19

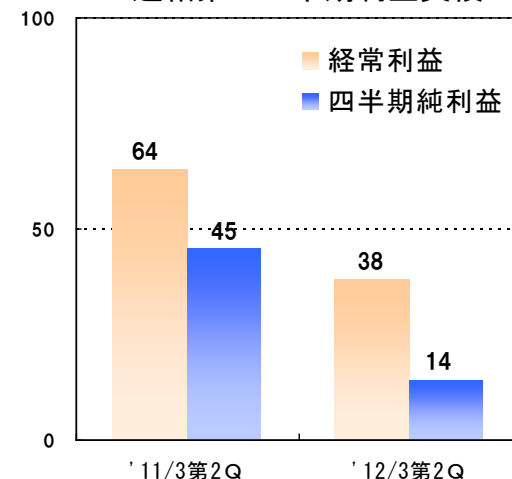
I - 1. 連結第2四半期決算実績

(単位: 百万円、%) (単位: 百万円) 連結第2四半期売上高実績

	2011年3月期 第2四半期			2012年3月期 第2四半期		
	実績	売上比	前年同期 増減率	実績	売上比	前年同期 増減率
売上高	2,405	100.0	21.6	2,374	100.0	▲1.3
売上総利益	609	25.3	31.4	612	25.8	0.5
営業利益	92	3.9	169.8	58	2.5	▲36.5
経常利益	64	2.7	916.8	38	1.6	▲40.8
四半期純利益	45	1.9	-	14	0.6	▲67.3



(単位: 百万円) 連結第2四半期利益実績



注: 増減率が1,000%を超える場合は、前期比を「-」で表示しています。

- 東日本大震災の影響で自動車関係の受注が減少。
- 震災復興に関する特別損失は33百万円。

設備投資額 75百万円

減価償却費 176百万円

I - 2. 連結第2四半期決算実績(会計期間)

(単位:百万円、%)

	第1四半期会計期間(4-6月)				第2四半期会計期間(7-9月)				
	2011年 3月期	2012年3月期			2011年 3月期	2012年3月期			
	実績	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	実績	構成比	前年同期 増減率	当第1四半期 増減率
売上高	1,192	1,137	100.0	▲4.6	1,213	1,236	100.0	2.0	8.8
売上総利益	321	292	25.7	▲9.2	287	320	25.9	11.5	9.6
営業利益	62	23	2.1	▲62.6	30	35	2.9	17.7	52.2
経常利益	50	10	0.9	▲80.0	13	27	2.3	104.0	176.5
前年同期比較	前年同期は、リーマンショックからの回復で上昇基調だったが、3月の震災による影響で特に自動車関係の受注が減少したことから大幅な減益となった。				前年同期に比べて、 ①医療製品の新製品が純増となっていること ②自動車関係の受注回復により効率アップ ③工場の原価低減の推進 により、利益率が向上した。				
	今期の第一四半期(4-6月)に比べて、震災後の自動車関係の受注が回復してきたことから、業績が回復基調となり利益率も上昇した。								

I-3. 連結セグメント別実績

(単位:百万円、%)

売上高	2011年3月期 第2四半期累計期間			2012年3月期 第2四半期累計期間		
	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	構成比	前年同期 増減率
工業用ゴム事業	2,009	83.5	26.1	1,774	74.7	▲11.7
医療・衛生用ゴム事業	396	16.5	3.0	599	25.3	51.2
売上高合計	2,405	100.0	21.6	2,374	100.0	▲1.3

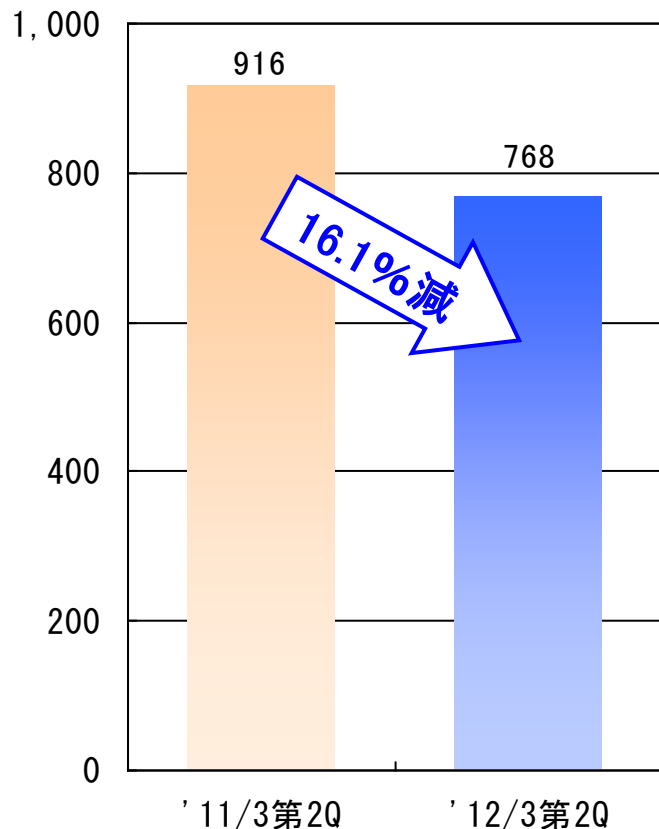
(単位:百万円、%)

セグメント利益	2011年3月期 第2四半期累計期間			2012年3月期 第2四半期累計期間		
	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	構成比	前年同期 増減率
工業用ゴム事業	168	80.4	206.1	67	38.7	▲60.2
医療・衛生用ゴム事業	41	19.6	▲29.9	106	61.3	159.4
セグメント利益合計	209	100.0	84.5	173	100.0	▲17.2

- 当第2四半期は医療・衛生用ゴム事業の売上高構成比が上昇し、セグメント利益の半分以上を占める。

I-4. 主要製品実績—ASA COLOR LED

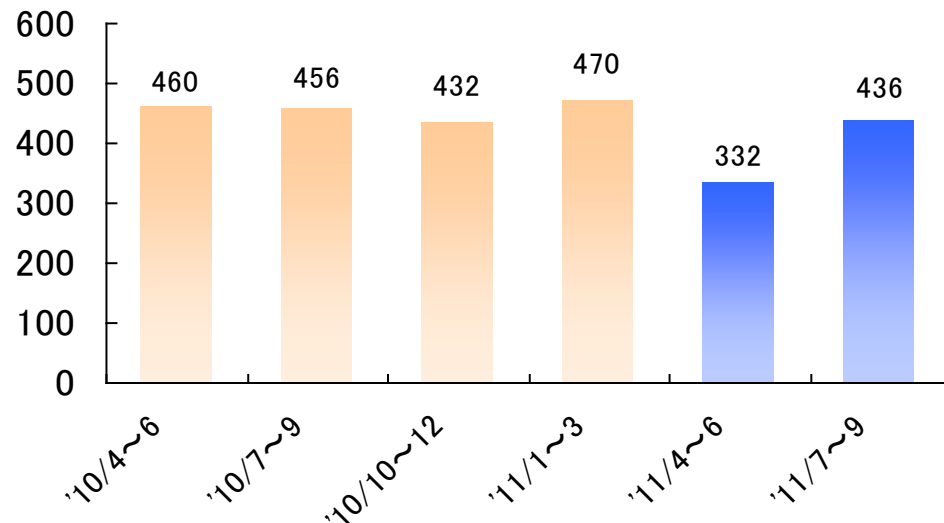
(単位:百万円) 連結売上高推移



ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



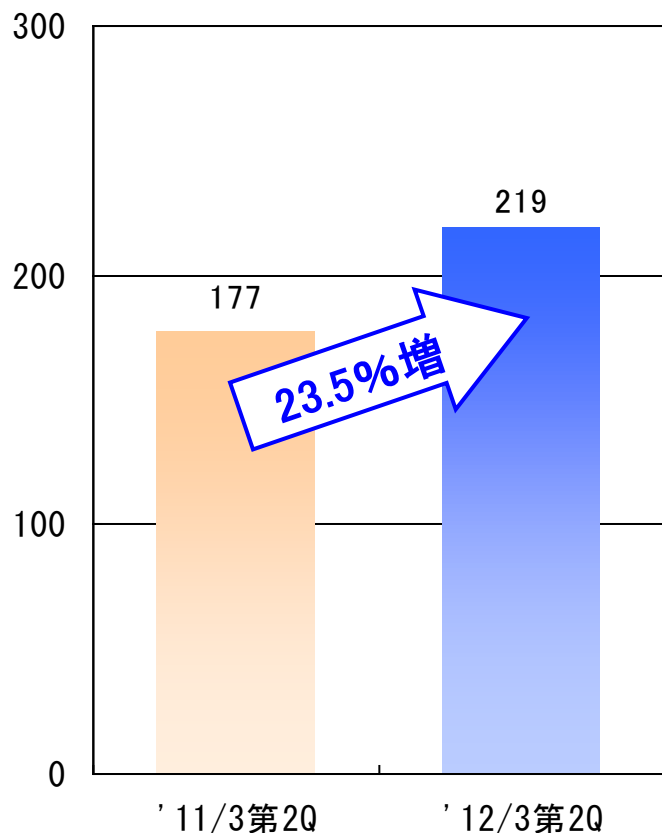
● 震災による自動車向けの受注減少により売上減。

● '11/4~6は震災の影響で売上減となったが回復基調となっている。

I-4. 主要製品実績—スポーツ用ゴム製品

(単位:百万円)

連結売上高推移



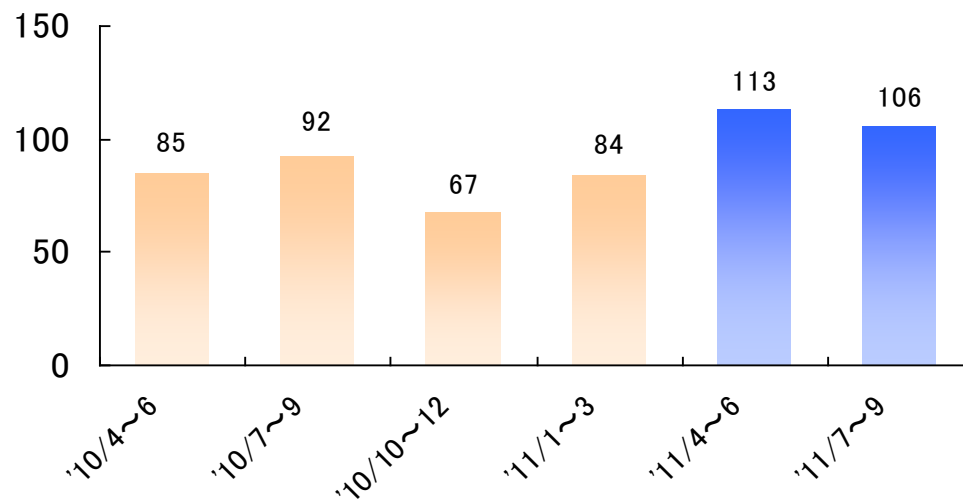
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

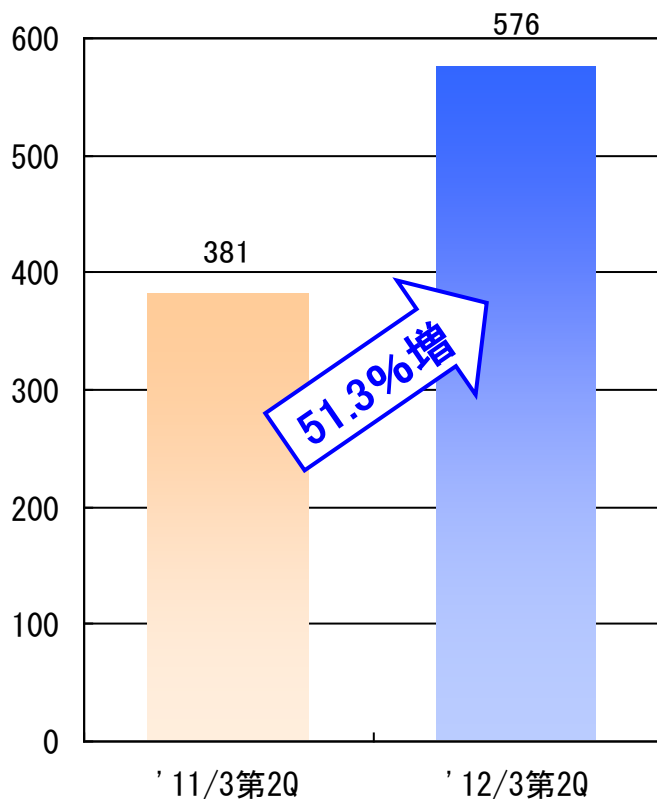
四半期会計期間の売上高推移



●新製品の受注が好調に推移し、前年同期比で23.5%の売上増。

I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

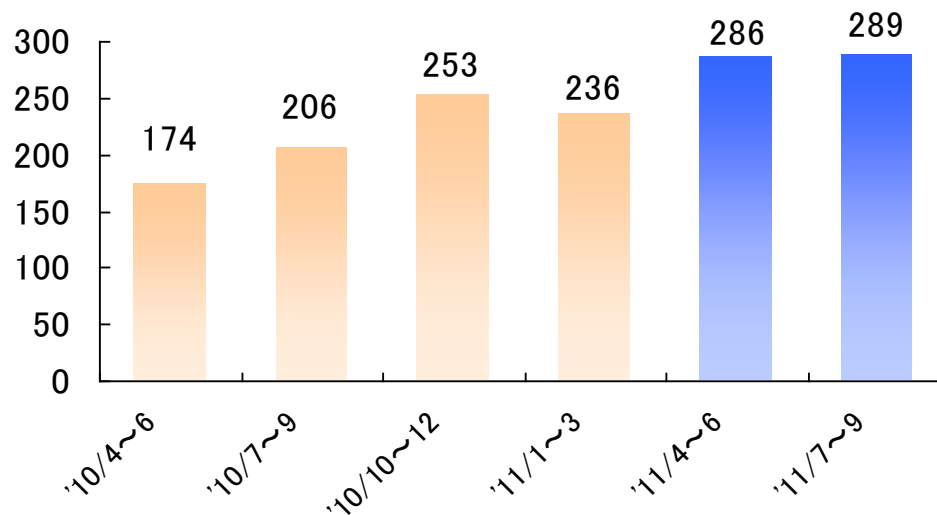


ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



- 昨年9月に工場増築で対応した新規得意先向けの薬液充填済み注射器用ガスケット(プレフィルドシリンジ)の受注が好調に推移。

I - 5. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2011年3月期 第2四半期			2012年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	2,356	100.0	19.4	2,330	100.0	▲1.1
売上総利益	572	24.3	24.7	600	25.8	4.8
営業利益	68	2.9	64.8	83	3.6	22.1
経常利益	40	1.7	302.4	66	2.9	64.7
四半期純利益	31	0.8	436.5	54	2.3	75.0

●震災の影響で自動車向け製品の受注が減少したが7月以降回復し、工場の歩留り改善や生産性の向上で利益が出やすい体質となり、減収だが増益となった。

I - 6. 連結子会社の決算状況

(単位：千円)

	株式会社ファインラバー研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
業務内容	ゴム・プラスチック等の研究開発		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	48,238	前年同期 増減率	87,317	前年同期 増減率
		▲7.4%		▲25.4%
経常利益	8,458	13.2%	6,687	▲48.5%
四半期純利益	4,827	9.7%	3,900	▲51.5%

円換算レート：1米ドル81.77円

(単位：千円)

	朝日橡膠（香港）有限公司		東莞朝日精密橡膠製品有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売	
売上高	108,417	前年同期 増減率	64,673	前年同期 増減率
		7.9%		-
経常利益	▲20,457	-	▲35,705	-
四半期純利益	▲26,202	-	▲35,521	-

円換算レート：1香港ドル10.51円

円換算レート：1人民元12.52円

I - 7. 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2011年 3月末時点	2011年 9月末時点	差	主な変動理由
流動資産	3,803	3,457	▲345	借入金返済で現金及び預金が減少
固定資産	3,874	3,875	1	
繰延資産	17	15	▲2	
資産合計	7,695	7,348	▲346	
流動負債	2,322	2,144	▲177	支払手形及び買掛金と短期借入金の減少など
固定負債	2,558	2,379	▲178	長期借入金の減少
負債合計	4,880	4,523	▲356	
純資産合計	2,814	2,824	9	
負債純資産合計	7,695	7,348	▲346	

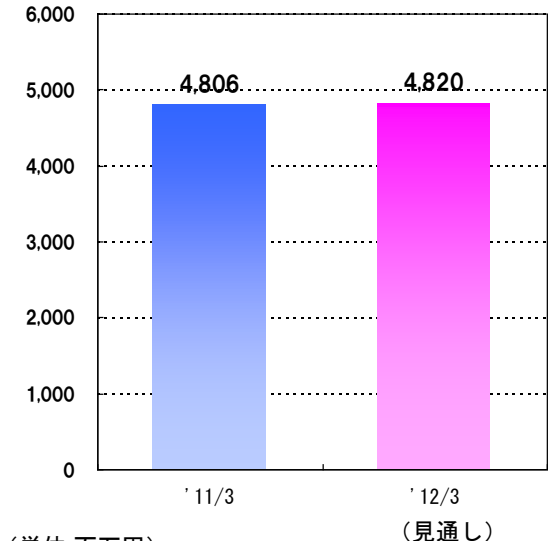
Ⅱ－1. 2012年3月期連結決算見通し(前期比)

(単位:百万円、%)

	2011年3月期		2012年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	4,806	100.0	4,820	100.0	0.3
売上総利益	1,222	25.4	1,304	27.1	6.6
営業利益	161	3.4	202	4.2	25.0
経常利益	117	2.4	141	2.9	20.1
当期純利益	21	0.5	83	1.7	279.5

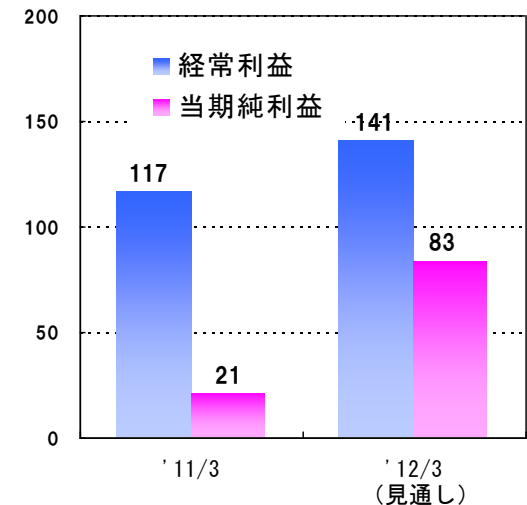
(単位:百万円)

連結売上高見通し



(単位:百万円)

連結利益見通し



セグメント別見通し

(単位:百万円、%)

	2011年3月期		2012年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,898	81.1	3,640	75.5	▲6.6
医療・衛生用ゴム事業	907	18.9	1,180	24.5	30.0
売上高	4,806	100.0	4,820	100.0	0.3

Ⅱ－2. 2012年3月期連結決算見通し(前回予測比)

(単位:百万円、%)

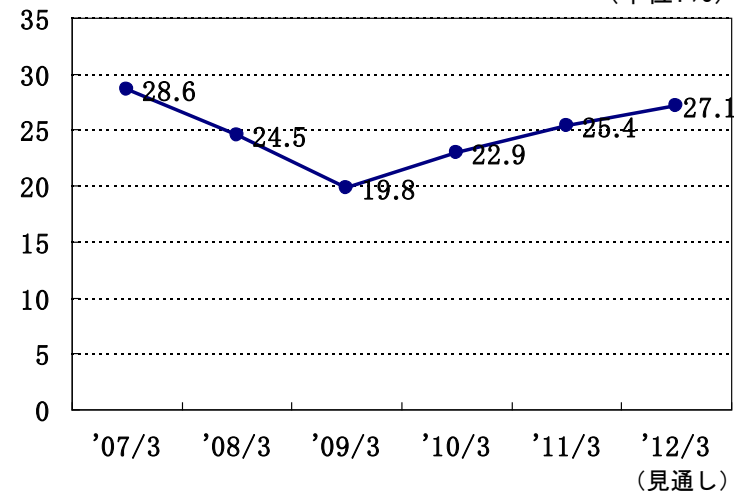
	8/10時点		11/14時点修正		
	見通し	構成比	見通し	構成比	8/10時比較 増減率
売上高	4,750	100.0	4,820	100.0	1.5
売上総利益	1,221	25.7	1,304	27.1	6.8
営業利益	168	3.5	202	4.2	20.2
経常利益	104	2.2	141	2.9	35.6
当期純利益	86	1.8	83	1.7	▲3.5

●上方修正要因

- ①中国子会社の単月黒字化
- ②照明向け製品の新規受注
- ③工場の原価低減活動の定着

- 工場の歩留り改善と生産性の向上の定着により、売上総利益率はリーマンショック以前の水準まで回復の見込み。

連結売上総利益率推移 (単位:%)



Ⅱ－3. 2012年3月期連結設備投資計画

設備投資金額 約360百万円

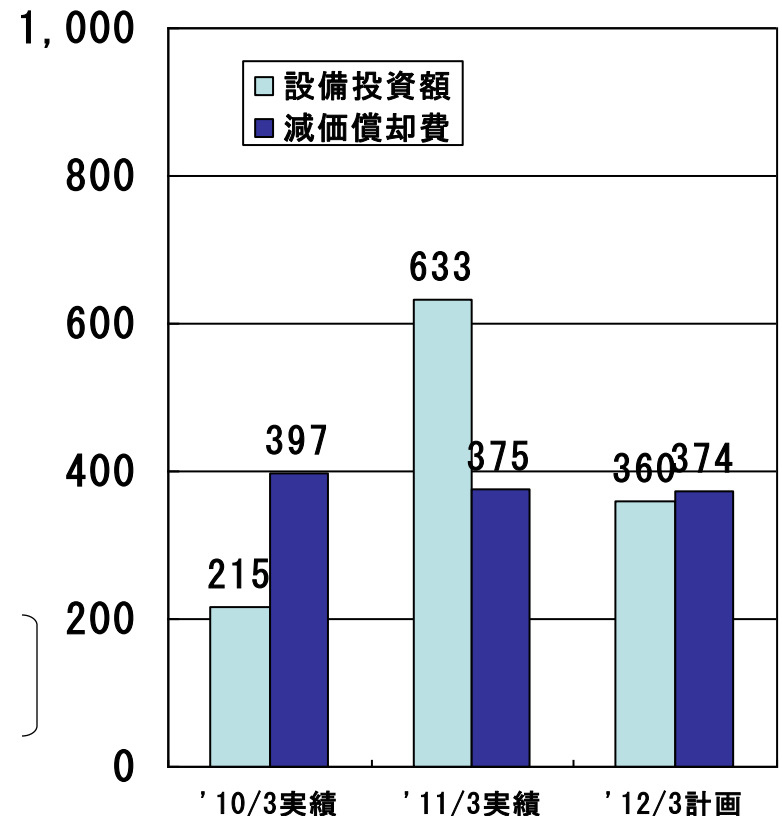
減価償却費 374百万円

● 第2四半期の設備投資実績
75百万円

● 第3四半期以降の設備投資計画
約285百万円

〔 ASA COLOR LENS新設備 100百万円
RFIDタグ新製品設備 50百万円 〕

(単位:百万円)

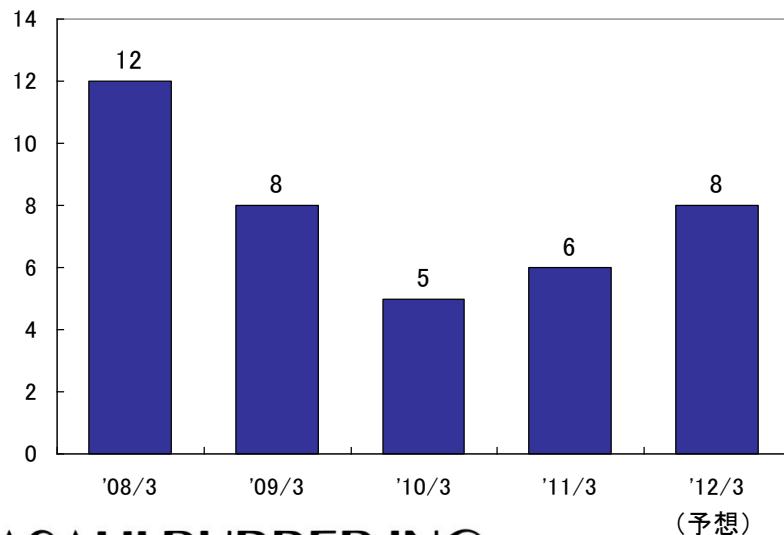


Ⅱ-4. 2012年3月期配当実績と計画

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
中間配当	0円	3円	3円
期末配当	5円	3円	5円 (予想)
年間	5円	6円	8円 (予想)

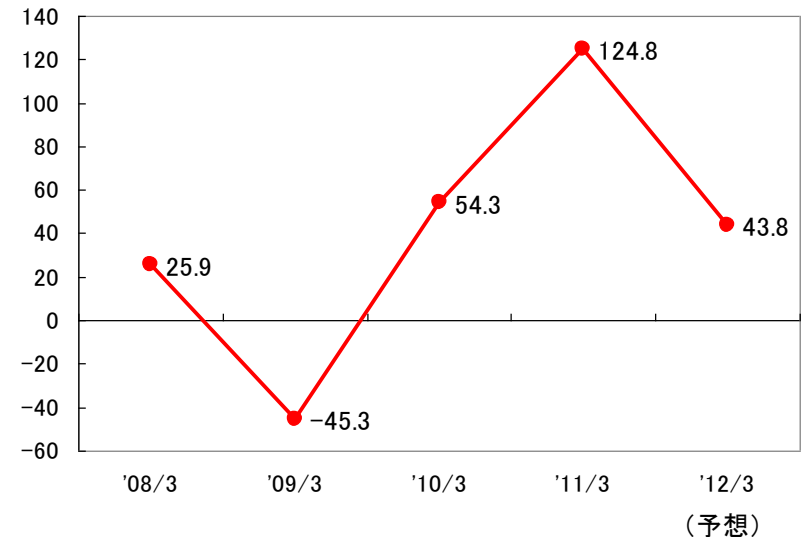
(単位:円)

一株当たり配当金推移

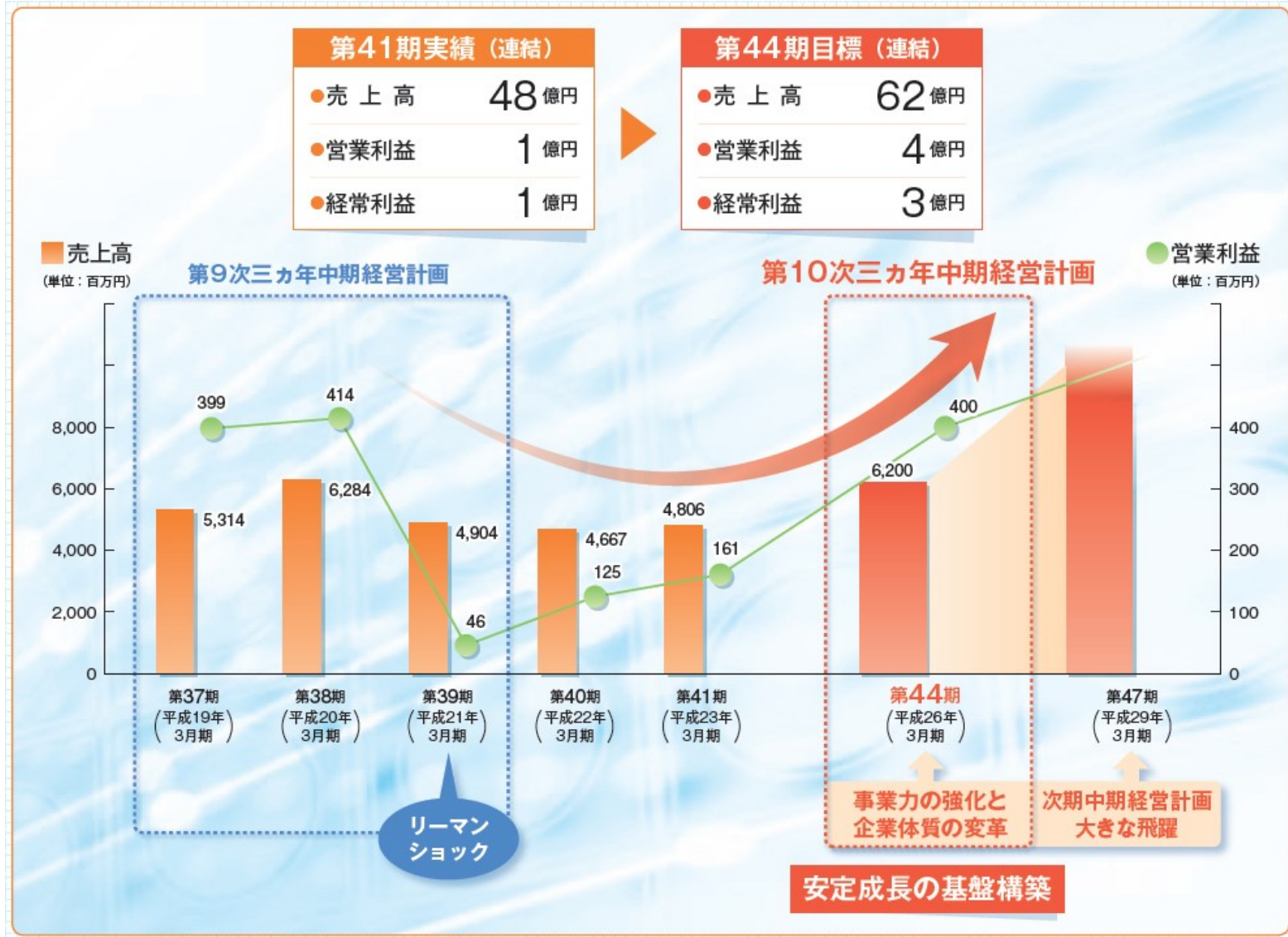


(単位:%)

連結配当性向推移

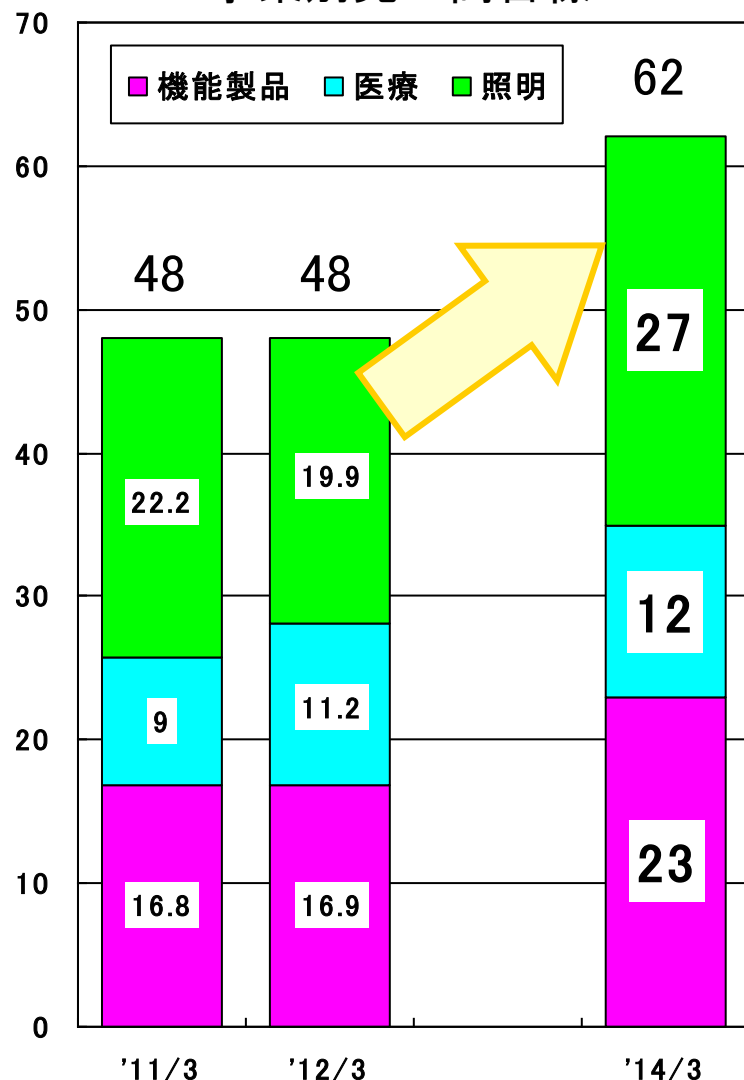


Ⅲ－1. 中期経営計画概要



Ⅲ－2. 事業戦略－事業別連結売上高

(単位:億円) 事業別売上高目標



照明関連事業 目標売上高27億円

色と光のコントロール技術で自動車、
一般照明分野で成長

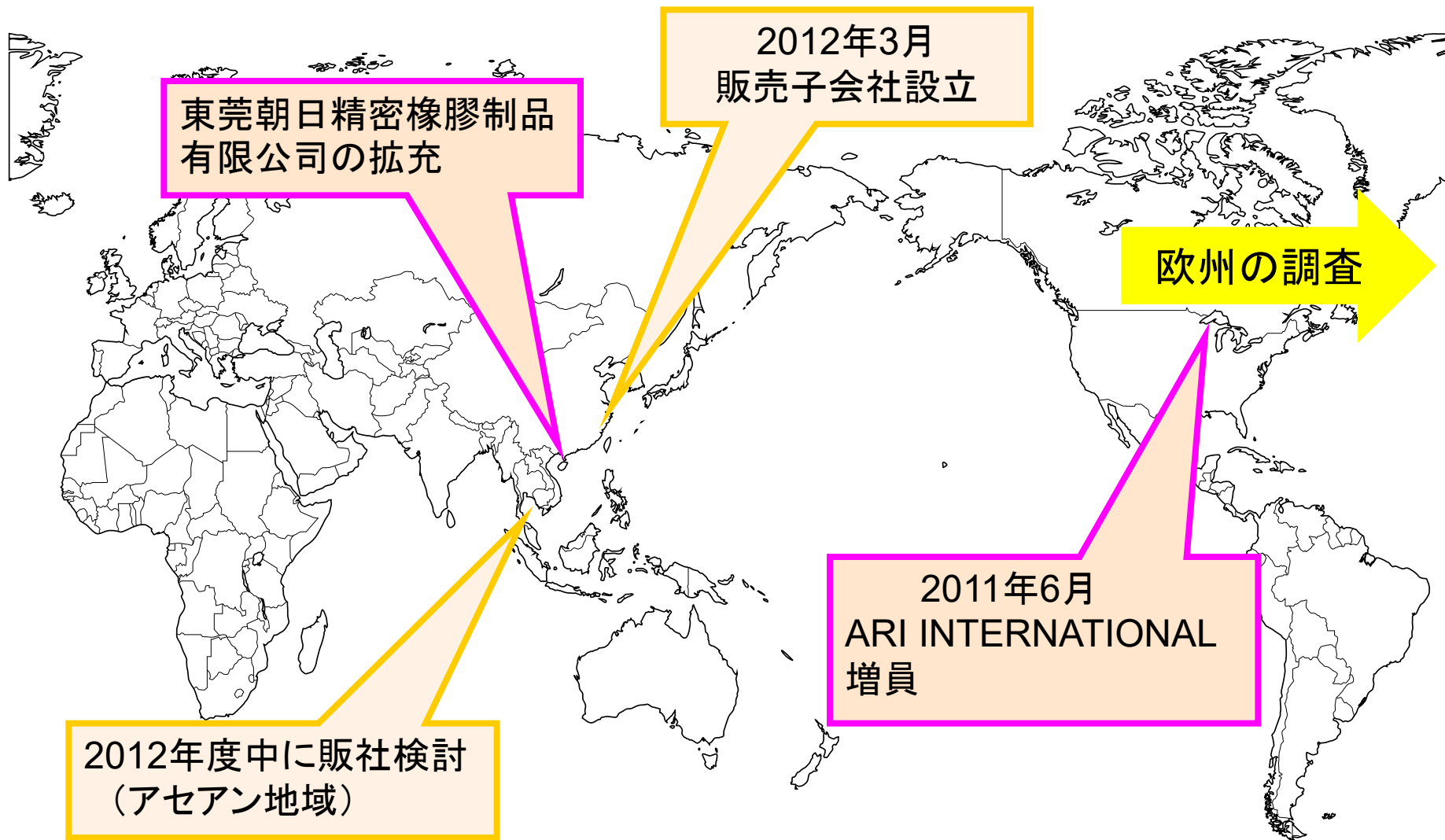
医療関連事業 目標売上高12億円

表面改質技術と素材変性技術で、注射器用
ガスケットなどにより目標の前倒し達成へ

機能製品関連事業 目標売上高23億円

アジアでの価格競争に対し、技術力を前面に
出して、自動車、情報通信分野で成長

Ⅲ－3. 海外戦略－海外ビジネスの拡大



Ⅲ－3. 海外戦略－販売子会社設立

2012年3月に中国・上海に販売子会社を設立予定

- ・社名 朝日科技(上海)有限公司
- ・出資 当社出資100%予定
- ・資本金 未定
- ・場所 中国上海市内

- 2012年4月から事業開始予定
- 販売・マーケティング業務だけでなく、設計や技術提案を含めた活動を行う
- 当面は照明関連製品が中心
- 日本(朝日ラバー)と中国(東莞朝日精密橡膠制品)で生産した製品を販売

Ⅲ－3. 海外戦略－売上高目標

海外向け売上高比率を2014年3月期に20%まで高める

(2011年3月期海外売上高比率 10.3%)

2014年3月期売上高目標 12億円

ものづくり

法人名	市場地域	売上高
朝日ラバー(日本)	北米・欧州・アジア(中国含む)	7億円
東莞朝日精密橡膠製品(中国)	中国	5億円

販売法人

法人名	市場地域	売上高	事業分野／主な市場
朝日ラバー(日本)	アジア(中国含む)	2億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場
ARI International(アメリカ)	北米・欧州	3億円	照明関連事業／自動車・照明市場
朝日橡膠香港(中国)	アジア(中国除く)	3億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場
東莞朝日精密橡膠製品(中国)	中国	2億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場
朝日科技上海(中国)	中国	2億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理統括部本社管理グループ
TEL 048-650-6056